

通常のごみや資源物の出し方のご注意とお願い

日頃より自治会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

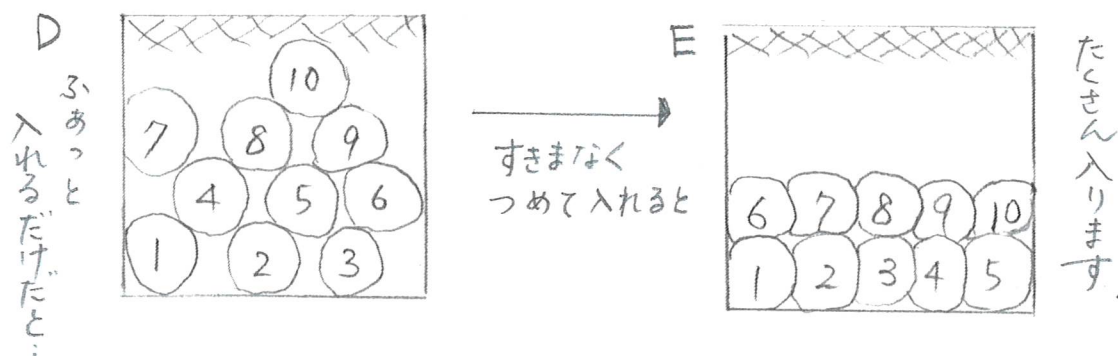
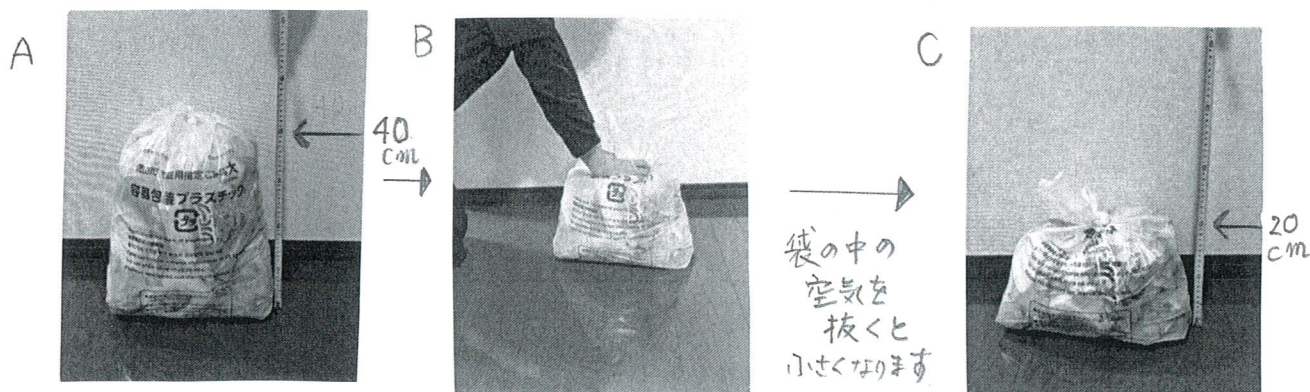
年々、各家庭からのごみの排出量が増加傾向にあり、流山市でも問題になっています。ただ単に、回収BOXを増やすだけでは、問題の解決にはなりません。

次のようにご配慮、工夫をしていただき、各家庭のごみが減量できるよう、また、回収BOXが有効に活用できるよう、ご協力をお願いいたします。

1) プラスチックごみ (表示のついているもの) ⇒ 緑字の指定の袋に入れる

プラごみの回収日は週に1度しかありません。回収BOXが有効に活用できるように、次のことを工夫願います。

- ① お弁当やテイクアウトなどを利用した時に多量のプラごみが出る傾向があります。
ごみにする場合は、**同じ形のものを重ねたり**、角に切れ目を入れる等して、**ごみの体積を減らせるように工夫**して出しましょう。
- ② ごみを出す際は、**袋の中の空気を押し出し、抜いて、袋を小さくしてから、袋の口をしっかりと閉じて出してください**。空気を抜くことで、**大きさが半分位**になります。・・・写真A、B、C参照
- ③ ごみ回収ボックスに入れる際は、**隙間を作らないよう詰めて入れる**ようにしましょう！・・・図 D、E 参照



裏面もご覧ください↓

- ④ シャンプーや洗剤などは、詰め替え用を購入する、不要なプラスチックスプーンやフォークをもらわない、繰り返し使用するなどでプラごみを減らすことができます。
- ⑤ 食品トレーは、スーパー等の回収ボックスを利用しましょう。
- ⑥ プラごみと×ごみが混ざっていることが多いようです。分別方法をもう一度ご確認ください。

2) 燃やせるごみ出しについて（生ごみ等）⇒黒字の指定の袋に入れる

特に生ごみはカラスなどに散乱される恐れもありますので、回収 BOX には生ごみ、その他食品の匂いの付いたごみを優先で入れてください。落ち葉や雑草などはボックスの脇などに、通行の妨げにならないように置くようお願いします。

また、ごみ袋の口が開いたまま出すご家庭があります。回収時に BOX 内に散乱してしまいますので、ごみ袋の口はしっかり縛り、閉じてから出すようお願いいたします。

燃えるごみの量を減らすために次のことを工夫願います

- ① お菓子の箱、食品の箱、ティッシュの箱、化粧品の箱、贈答品の箱、等々は、潰してリサイクルの日に雑紙として出すことができます。
そうすることで、燃やすごみの量を、たいへん少なくすることができます。
(ティッシュの箱などについているビニールの部分は、必ず取ってください)



※雑紙としてリサイクルされている様子

(箱は潰して、紙製の袋に入れて出すと出しやすい。
潰すと結構入ります)

- ② 各家庭の食べ残しのごみの量が多く、社会問題にもなっております。
食べ残しが多くならないように、作る量、買う量に気をつけましょう。

※ごみの出し方の工夫や、リサイクルに出すことで、ごみの量を減らすことができます。
ごみ袋の大きさを、大から小へ、また、枚数も 2 枚から 1 枚へ減らせ、節約にもなります。

これからの年末年始は、通常のごみの回収日が休みになったり、資源物回収日の変更があります。ご確認の上、計画的なごみ出しを工夫しましょう。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。